

生駒市学校教育の目標（平成 30 年度・平成 31 年度）新旧対照表

平成 30 年度	平成 31 年度
<p>(2 ページ)</p> <p>幼稚園・こども園の具体的な取組</p> <p>①新幼稚園教育要領を踏まえたアクティブ・ラーニングを推進する。</p> <p>⑥幼小接続に向けての取組を推進する。</p> <p>小学校の重点課題</p> <p>①問題解決に向けた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の充実</p> <p>小学校の具体的な取組</p> <p>①新学習指導要領の実施を踏まえたアクティブ・ラーニングを推進し、ICT 機器活用等による授業を充実する。</p> <p>③「いこまスマホ宣言 2016」の周知を図り、情報モラル向上のための取組を推進する。</p> <p>⑤ALT、わくわくイングリッシュサポーターの協力により、1年生から英語の楽しさを感じられる英語教育を推進する。</p> <p>⑧各種事業等を活用することにより、創造力・達成感・自己肯定感を育成する。</p>	<p>(2 ページ)</p> <p>幼稚園・こども園の具体的な取組</p> <p>①幼稚園教育要領を踏まえた<u>カリキュラム・マネジメント</u>を推進する。</p> <p>⑥<u>保幼小接続</u>に向けての取組を推進する。</p> <p>小学校の重点課題</p> <p>①問題解決に向けた主体的・対話的で深い学びの<u>実現</u></p> <p>小学校の具体的な取組</p> <p>①新学習指導要領の実施を踏まえた<u>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善</u>を行い、<u>ICT 機器を効果的に活用する。</u></p> <p>③「いこまスマホ宣言 2016」の<u>周知徹底</u>による、情報モラル向上のための取組を推進する。</p> <p>⑤ALT、わくわくイングリッシュサポーターの協力により、1年生から英語の楽しさを感じられる<u>取組</u>を行い、<u>小・中学校 9 年間を通した英語教育カリキュラムの実施</u>を推進する。</p> <p>⑧各種事業等を活用することにより、創造力・達成感・<u>自己肯定感・自己有用感</u>を育成する。</p>

⑨ 幼小接続の取組を推進するとともに、中学校との連携を深める。

(3 ページ)

中学校の重点課題

① 問題解決に向けた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の充実

中学校の具体的な取組

① 新学習指導要領の実施を踏まえたアクティブ・ラーニングを推進し、ICT 機器活用等による授業を充実する。

② ビブリオバトル大会への参加等による読書活動を推進する。

⑤ ALT の協力による英語教育を推進し、異文化に出合ったり親しんだりする活動等を通して国際感覚を育成する。

⑧ 各種事業等を活用することにより、創造力・達成感・自己肯定感を育成する。

安全で信頼される園・学校づくりの重点課題

★ 園・学校・家庭・地域の連携と協働による地域と共にある学校づくり

⑨ 保幼小接続の取組を推進するとともに、中学校との連携を深める。

(3 ページ)

中学校の重点課題

① 問題解決に向けた主体的・対話的で深い学びの実現

中学校の具体的な取組

① 新学習指導要領の実施を踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、ICT 機器を効果的に活用する。

② 読書離れの改善に取り組み、ビブリオバトル大会への参加等による読書活動を推進する。

⑤ ALT の協力による英語教育を推進し、異文化に出合ったり親しんだりする活動等を通して国際感覚を育成する。また、小・中学校9年間を通したカリキュラムに取り組み、中学校卒業時の目指す子どもの姿の実現を図る。

⑧ 各種事業等を活用することにより、創造力・達成感・自己肯定感・自己有用感を育成する。

安全で信頼される園・学校づくりの重点課題

★ 園・学校・家庭・地域の連携と協働による地域と共にある社会に開かれた学校づくり